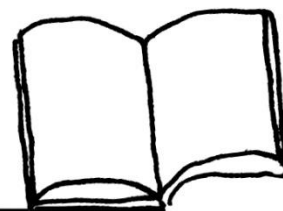


敬 和

R2. 11. 13 発行



11月6日、それぞれの学年で「わたしたちのふるさと」というテーマで校外学習に行きました。自分たちの住んでいる地域の歴史的遺産・地場産業などを見学し、説明を聞くことで、地域に対する理解を深め、自分たちの住んでいる所を好きになって欲しいと願い、実施されているものです。校外学習での感想を紹介します。

1年生

一宮神社で、講師の宮城さんから一宮神社についてのお話を聞きました。その後、一宮町の史跡めぐりをしながら講師の平山さんからお話を聞きました。

<一宮神社について>



- 一宮神社の裏にあった建物をはじめて見ました。屋根は木の皮を重ねて作っていることが分かりました。今まで興味をもたなかったことも、今日の話聞いて、もっとくわしく知りたかったです。
- 一宮神社の裏に行ったことは何回かあったけど、本殿があり、そこまですごいものとは思っていませんでした。知ることができて良かったです。神社が建てられた年代がはっきりわかっているというのもすごかったです。今度行ったときは、本殿がどういうふうになっているかももっとゆっくり見てみたいと思いました。
- 丸太橋が一番きれいだなと思った。生えているこけが時代を感じさせてくれた。鳥居はイメージ通りで、くぐると特別な感じがした。本殿は色が消えかけていたけど、鮮やかでもっとくわしく見たいと思った。
- みんながおいしくお米を食われているのは、一宮神社の穀物の神様のおかげだと思います。僕が一番すごかったのは、神社の屋根です。昔は金属に木の皮を重ねて作っていたことや三間社流造さんげんしゃながれづくりを実際に見て、長い歴史をたどった感じがしました。
- 講師の宮城さんが、「昔の人は神社を大切にしてきたから、これからも受け継いでいかなければならない」と言っていたのが、伝統文化を受け継いでいく人はすごいなと思いました。これからも一宮神社をみんなで守り続けていきたいと思いました。
- 一宮神社を初めて見ました。すごく大きくて迫力がありました。そして、紋や昔の建物を見て、すごく歴史を感じられる場所だなと思いました。とくに昔の建物にまだ色がついていたことですごく歴史を感じることができました。まだまだ、一宮神社について知ることができたらいいと思いました。

<史跡めぐりについて>



○一宮には、たくさんの歴史があってすごいなと思いました。一つの町に「そでもぎの祠」や石碑など、残っているものがたくさんあるというのは本当にすごいと思います。今回は一宮の歴史について知ることができてとてもよかったです。

○「そでもぎの祠」はとてもせまい道なのに、たくさんの家来やお姫様が通っていたのは驚きです。一つの道に色々な歴史がつまっていた面白かったです。木村和蔵先生も学校の改善をしたというすごい人だと知ることができて勉強になりました。

○お姫様が「自分は無事逃げました。」と分かるように、松の木に着物のそでを破ってくるといのは、私は到底思いつかないと思います。百姓に麻の服を貸してくれと言って断られて死んだのは少し残念だけど、そういうことが今まで伝わってきたのはすごいと思います。「歴史や文化を今の私たちの時代まで語り継いでくれた」と考えると少しうれしく思います。

○一宮には、城に関係するものや出来事がいっぱいあると分かりました。昔にあったことや出来事を示すものが現代まで残っているのはすごいことだと思いました。史跡めぐりは、私が知らないものばかりでした。これからは今回の学習で知ったことを広めていこうと思いました。

○ぼくは一宮町を見てまわったのは、初めてでした。今回いろいろ見たことを家族に全部話そうと思います。「そでもぎの祠」、「木村和蔵先生の石碑」、「一宮小笠原家歴代忠臣105名切腹の地」、どれも興味深かったです。

○私は一宮町に住んでいるけど、一宮町の史跡については全く知りませんでした。けれど、今回の校外学習のようにふと周りを見てみると、いろいろな史跡がありました。特に印象に残っているのは「そでもぎの祠」です。お姫様が「無事逃げ切った」と家来に知らせるため、自分のそでをちぎって松の木にかけたという話を聞いて、とても驚きました。他のお話もとても興味深くて気になるものばかりでした。もっとたくさんの史跡についても知りたいと思いました。

